

ぽーと・ぷらす (沖縄・陽性者ミーティング) かわら版



次回 (第29回) は、29年10月21日 (土)

13時~15時を予定しています。

◆ぽーと・ぷらす (沖縄・陽性者ミーティング) って何？

「こういうとき、ほかのポジティブの人はどうしているんだろう・・・」
「ほかのポジの人と話がしてみたい」

そのような声を受けて、2010年から3か月に1回のペースで当ミーティングがおこなわれています。参加人数は平均5~6名と話しやすく、初参加のかたも含めてお互いを認め合う雰囲気があります。もちろん、聞いているだけでも大丈夫です。今後も、**毎回を新たな始まりとして、【他の当事者と安心して居られるような場】**を継続していく予定です。



◆前回 (29. 7. 29) の参加者からのメッセージ。今回は特に、気持ちが落ち込んでいるあなたに向けています。

「大変苦しくつらい思いをしていると思いますが、**勇気をもって参加して下さい。**」

「**弱音を語り合える場でありたい。だから弱い気持ちを抱えている人ほど、安心して泣き言を言って欲しい。あなたの弱音と私の弱音を寄せあいましょう。**」

あなたのペースでどうぞ。



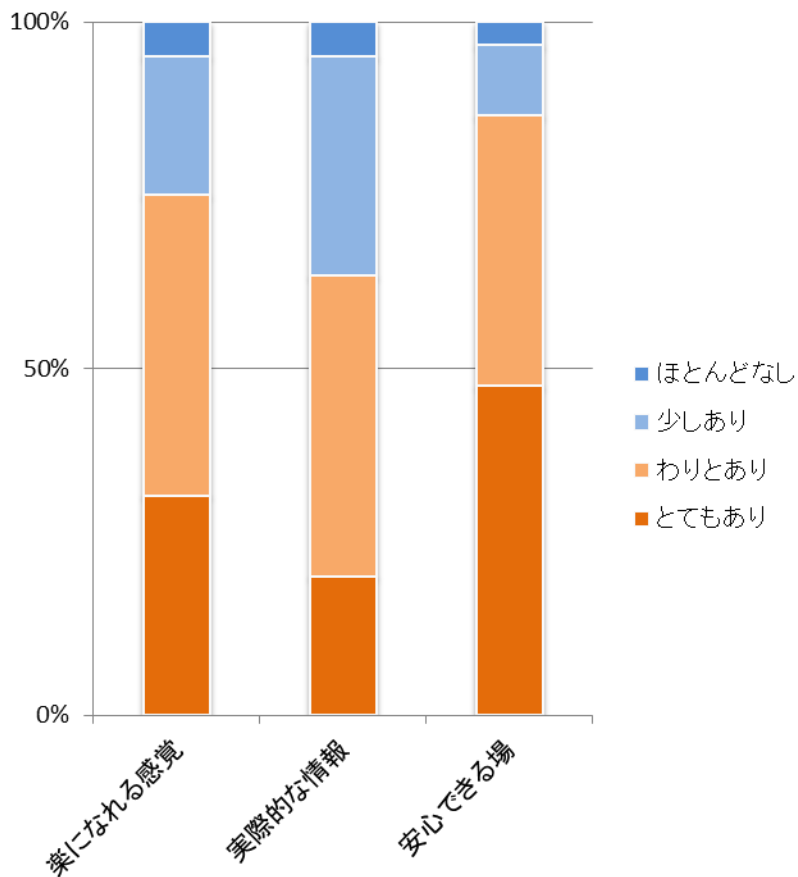
会場の一例

参加対象は、沖縄県内のHIV/エイズ診療拠点病院を受診しているHIV陽性の人であり、セクシュアリティや感染経路は問いません。申し込み方法を含めた詳しい「**ご案内**」は、**受診時に診療チームからお受け取りください。**

沖縄県臨床心理士会HIVワーキンググループ

ぽーと・ぶらす 参加者アンケートの結果（抜粋）

1. 参加することで得られそうな3項目 （第1～10回 のべ60名分の累計）



好意的な評価（オレンジ系の部分）が過半数を占めており、特に「安心できる場」を得られたと感じておられる参加者が多いです。

2. 前回（H29.7.29）の参加者の声（抜粋） （参加者から了承を得て掲載しています）

自由意見 今回	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回を重ねるごとに、このプログラムは進化していて素晴らしいと思いました。続けることで、やっぱり素晴らしい！ ・ 参加するにあたって不安な気持ちが強く、実際参加して、はじめは後悔した部分があったけど、終わった後は、来てよかったと思いました。 ・ 初めての参加者にあえて、良かったです。
日常に戻って していそうな事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 100%していそうなことは特にありません。 ・ 現に様々な障がいを抱えながら、生活しておられる方もいることを、もっと自分の中に落とし込んで生活していきたいと思います。 ・ 情報だけに頼らずに頑張っていきたい。
自由意見 次回以降	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回同様、新しい参加者がきてくれたらありがたい。 ・ 初回の今回は話を聞くだけだったので、次回以降は、自分の意見が言えたら良いと思います。

マイノリティ（少数者）の中で、さらに別のマイノリティの特性をもつ方々もいます。一方、感染によって初めてマイノリティになった方々もいます。この会は、互いの違いから学び合う場にもなっているようです。